

平成28年度 第2回能勢町地域福祉計画推進委員会 会議録

日 時	平成28年12月21日(水) 10:00~11:20
場 所	能勢町保健福祉センター 2階 多目的室
出 席 者	<p>委員長 岩崎 昭雄 副委員長 嶋田 一夫 委員 小南 清 委員 福西 正明 委員 中澤 吉治 委員 八木 キヨミ 委員 黒島 秀子 委員 倉脇 清美 委員 安田 浩之 委員 寺野 芳子 委員 宇佐美 哲郎 委員 西村 由紀子 委員 古田 美代子 委員 今中 喜明</p> <p>事務局 健康福祉部福祉課 課長 古畑 まき 健康福祉部福祉課 係長 大植 信洋 健康福祉部福祉課 田畑 尚利</p>
事 務 局	福祉課
会議の公開	公 開
傍 聴 者 数	2人

1 会議次第

<開会>

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ

<議題>

- (1) 能勢町子どもの生活に関する実態調査について
- (2) 第3次能勢町地域福祉計画の進捗状況について
- (3) 今後の予定について

<その他>

- (1) 次回の予定について

2 審議経過

<開会>

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ

<議題>

(1) 能勢町子どもの生活に関する実態調査について

事務局：(資料1、参考資料1及び参考資料2に基づき説明)

委員：アンケートを取ったことで何を指すかだと思いますが、アンケートの結果を受けて来年度に向け予算化していくことや、今回の報告から具体的な課題が見えてきているので、取り組み方や実施していく方針について、行政と個々の団体等との調整をしながら行っていくのでしょうか。

事務局：このアンケート結果を経て、平成29年度以降の事業の予算化をしていきたいと思えます。また、何を指していくのかと言うことですが、アンケートによって、学校等で把握していない先生たちが見えてなかった課題を見つけることや、保護者からのアンケート結果を基に町の児童関係の施策につなげていくことがこのアンケートの目的です。単純集計しか出ていない段階ではありますが能勢町の課題として、生活及び学習面、居場所づくり、親の関心、相談支援が課題として見えてきたと思っています。委員それぞれの立場でご意見を頂戴したいと思います。

委員：今回のアンケートについて、回収率が大阪府の結果と大きく違いますが、なぜ能勢町の回収率が良かったのですか。回収率が違うと言うことで、本来聞きたい人から聞けていない割合が大阪府では6～7割、能勢町で2～3割あり、この人たちの中に大きな問題が隠れている可能性があります。能勢町のアンケー

トは大阪府と同じ方法で回収したのか、また独自の方法で回収率を上げているのかをお聞きします。

事務局：大阪府は抽出した方に郵送で送付し、返送してもらった結果回収率が3割になりました。能勢町の場合は学校を通じて児童・生徒が家に持ち帰り、期限を設けて学校に提出いただいたことで回収率が高くなったものと考えます。児童・生徒については学校で記入したので回収率は9割を超えました。これまでも学校を通じて保護者へのアンケートを実施したことはありましたが、7割の回収率はこれまでなかったと思いますので非常に高い結果となりました。

委員：能勢町の結果で、宿題を見てあげられていない親が多いとのことでしたが、宿題は見えないけどアンケートは書いてくれた。大阪府の結果とはそこが大きく違うと思いますので、そう言ったところも気を付けて比較を見ないといけないと思います。そもそも出ている課題というのは産業の違い、親の生活形態の違いというところが結果的に大きく表れてくると思います。地域振興をして、親の収入が上がり、生活の余裕ができて、子どもを見る時間があるというのが理想ではありますが、比較にこだわらず地域性に基づいた分析を期待します。

事務局：分析につきましては、大阪府立大学に業務を委託しています。内閣府の子どもの貧困に関する有識者会議にも委員として出席されている、山野教授が総括されており、単純集計の結果を受けた中でも本町に対してご助言いただいているところです。府立大学の方で大阪府の業務とともに、合同実施した13市町全てを分析されておりますので、その比較も報告書に上がってくると思います。なお、参考資料1、参考資料2の集計につきましては、ホームページに掲載し公開する予定です。

委員：4つの項目にまとめられているこれらが課題ですが、これらの課題は簡単に言えば家庭の問題だと思います。子どもの貧困については、親と子どもの関係、家庭の在り方を充実していけば全てが解決するのではないのでしょうか。次に食事の問題、これはお金がないのか時間がないのかわかりませんがこれも親が子どもにちゃんと食べなさいと、そのようにすれば問題になりません。それから勉強についても同じ。相談については行政も関われると思いますが、居場所づくりは数年前までは、同じ地区の子どもたちで野山を走りまわり、そこで自然に学習し、楽しんで子どもらしい生き方をしていました。しかしながら少子化もあってこのようなこともできない状況になったと言うこと。それから保護者に対することも家庭の問題なので行政が出来ることは限られてくるのですが、あまり家庭に踏み込んでいろいろすることはなかなか出来ないと思います。ただ親子の問題や家庭の問題は、大きく言えば地域の問題として何ができるかと言うことだと思います。これらの件は少子化に伴い見えてきたものだと思います。拠点として学校が良いかも分からないけど、日頃のしつけや体力とかは地域と家庭とでやるべきものだと思います。

事務局：単純に子どもを持つ家庭の経済的な貧困というのではなく、社会のつながりが薄れてきていることは、子どもの環境にとって貧困と言えると思います。少子

化の中で見えてきたと言うことはご指摘通りだと思います。

(2) 第3次能勢町地域福祉計画の進捗状況について

事務局：(資料2及び参考資料3～参考資料6に基づき説明)

委員：社会福祉協議会との関係、行政と社協の関係を密にしながら連携していかなければならない。そのためには人材と財源が必要と思います。社会福祉協議会が独自で出来ることもあれば、行政のバックアップなどによって今まで以上に充実していかなければならないと思います。

それから相談事業について、特に障がい者の個別支援計画がなかなか行き渡っていないのが現状だと思います。もう少し行政も力を入れていただかないと民間の事業所に丸投げしているように見えて仕方がない。予算的にも充実して行政が支援するとか、間口を広くして相談しやすい環境を作るなどしなければ、相談事業というのは前に進まないと思います。

それから生活困窮者については社会福祉法人が支援する、社会福祉法人の使命として進めて行かなければならないと法律が改正されたと思いますのでこれをPRしなければなりません。先ほどの子どものことなども含めて行政がPRして今後安心して暮せる方法を提案していくべき。社会福祉協議会と連絡を密にするということについて、日々しておられると思いますが、住民には見えてこない。住民からすれば社会福祉協議会は役所の代わりをやっているようにしか見えないので、独自の事業を積極的にしていくような支援を進めていただきたい。

事務局：社会福祉協議会との連携については重要だと思っています。町の福祉部門だけでは出来ないところ、動きのとれないところを社会福祉協議会の力をお借りして、町は財政的に支援をしていくことを考えています。少子化、高齢化の進んでいる能勢町については福祉の分野の仕事が重要になると思いますので、社会福祉協議会と共に取り組んでいきたいと思っています。障がいの相談体制について、個別支援計画の作成を受けていただける事業所が町内にない中で町外の相談支援事業所に作成をお願いしていますが、資料2、6ページの1番上に書いておられますとおり、障がい者基幹相談支援センターの設置に向けた検討を進めて行こうと思っています。これがご指摘いただいた相談体制の充実につながるように、豊能町・能勢町自立支援協議会能勢町地域会議においてもご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。また、生活困窮者のことについても社会福祉協議会の事業や大阪府池田子ども家庭センターの事業もありますのでこれらのPRを行っていきたいと思っています。また、地域の力というところで民生委員の皆様と協力して進めたいと思っています。

委員長：見守り体制の強化の中で認知症高齢者等SOSネットワーク事業模擬訓練を今後も実施すると言うことでしたが、今現在登録されている方はおられますか。

事務局：今現在、3名の方に登録していただいています。家族が心配して申請された方や本人が認知症と言われており、自分で登録できるうちと言うことで申請さ

れた方もおります。今後、社会福祉協議会や介護事業所の力を借りてPRや事業を実施していきたいと思ひます。

(3) 今後の予定について

事務局：(資料3に基づき説明)

委員：他府県のデイサービスの送迎車を町内でよく見ますが、町内にどれだけの待機者がおられて、町内外の施設がどのようにかかわっているのか。高齢者、障がい者も今後益々伸びてくるように思ひます。現状として今のままで住んでおられる高齢者の方々が5年10年先に施設を利用する際に十分なサービスが町として提供できるかということをお心配しています。他府県の事業所は余裕があるから来ていただいていると思ひますが、町内の事業所の実態は今どうなっているのかを含めて次回ご報告いただきたいと思ひます。

事務局：介護保険事業所については、取りまとめができていますので、次回資料提供します。

3 その他

事務局：次回は平成29年3月に改めて日程調整の上、ご案内いたします。それでは第2回能勢町地域福祉計画推進委員会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

閉会